

保護者の試合観戦のマナー

①試合に介入できるのはレフリーとアンパイアだけです。

セルフジャッジのため、ポイント、アウト/インサイドの間違いなど、いかなる場合であってもコートに入ってから、保護者やコーチなど第三者が話しかけたり、ジェスチャーを送ったりすることはできません。違反となり、公式戦では失格となる場合もあります。

②応援する側にもスポーツマンシップを

ジュニアテニスには保護者の応援の方法によって大きな影響を受けます。一番のお手本となる人が保護者です。相手のミスで過剰に喜んだり、対戦相手のプレイが妨害されるような応援の仕方に注意してください。フェアプレイを促せる、応援をお願いします。

③感情的にならないように気をつけてください。

観戦している方も感情的になり試合会場で叱りつける保護者も多くいます。しかし負けて一番悔しいのは「本人」です。子供に親の意見を「聞かせる」ことよりも、子供の「意見を聞いて、整理してあげる」ことが効果的です。